

## 1 センキュウ

### 2 生薬の性状の項の次に次を加える。

3 確認試験 本品の粉末1 gにメタノール5 mL及び水酸化ナトリ  
4 ウム試液0.1 mLを加え、10分間振り混ぜた後、遠心分離し、  
5 上澄液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用  
6 (*Z*)-リグスチリド試液を標準溶液(1)とする。また、(*E*)-  
7 フェルラ酸1 mgをメタノール2 mLに溶かし、標準溶液(2)と  
8 する。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉  
9 により試験を行う。試料溶液20  $\mu$ L、標準溶液(1)及び標準溶  
10 液(2) 5  $\mu$ Lずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用  
11 いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキサン/アセト  
12 ン/酢酸(100)混液(30 : 25 : 1)を展開溶媒として約7 cm展開  
13 した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長365 nm)  
14 を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち1  
15 個のスポットは、標準溶液(1)から得たスポットと色調及び  
16  $R_f$ 値が等しい。また、これに噴霧用4-ジメチルアミノベン  
17 ズアルデヒド試液を均等に噴霧し、105°Cで5分間加熱した  
18 後、放冷するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち  
19 1個のスポットは、標準溶液(2)から得たスポットと色調及び  
20  $R_f$ 値が等しい。  
21